

No.2021-6

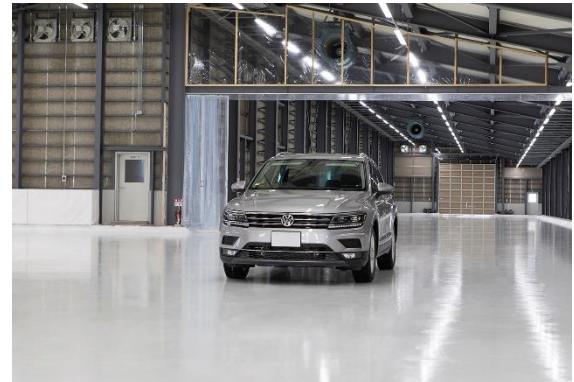
発行:2021年1月28日

## 名寄タイヤテストコースに国内最大級の屋内氷上試験施設「NICE」を開設 ～高精度な氷上試験により冬用タイヤの開発を加速～

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、このほど冬用タイヤ開発拠点である名寄タイヤテストコース(北海道名寄市)内に、新たに試験施設「NICE(Nayoro indoor ICE field)」を開設しました。NICEは、国内最大級の屋内氷上試験施設として全長100mの制動試験路と約30m×約30mの旋回試験路を備え、天候に左右されない高精度な試験を可能とします。今後、NICEを活用することで冬用タイヤのさらなる高性能化と開発のスピードアップを図ります。



「NICE」外観



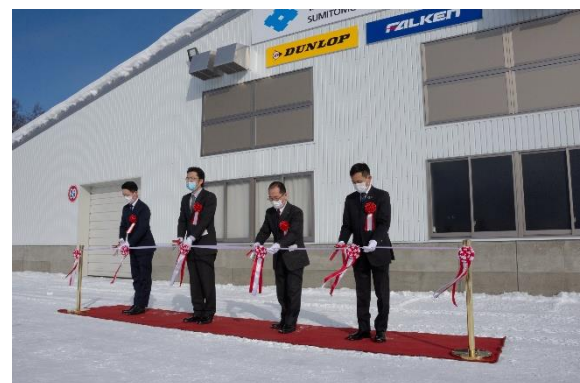
「NICE」屋内氷上試験路

また1月26日には、関係者をお招きした開所式を名寄テストコースで開催しました。式典では、北海道名寄市の加藤剛士市長から、同テストコースが長年にわたりスタッドレスタイヤの性能向上と地域経済の活性化に貢献してきたとして、感謝状をいただきました。当社代表取締役社長の山本悟もリモートで開所式に出席し、「国内最大級を誇る屋内氷上試験施設「NICE」を最大限に活用し、この名寄の地から、全てのお客様に感動していただける世界一の冬用タイヤをお届けする。社員一丸となって開発を進めていく」と挨拶しました。



感謝状授与の様子(加藤剛士市長[左]と

当社タイヤ技術本部第三実験部部长 和田靖男[右])



テープカットの様子

当社は、総合的な機能を有する岡山タイヤテストコースと冬用タイヤの開発を行う名寄および旭川タイヤテストコースを国内に有しています。名寄タイヤテストコースでは冬シーズンの凍結路や圧雪路におけるタイヤ性能の試験・解析を通して、これからも数多くの良い商品を世に送り出していきます。

<新試験施設の概要>

試験開始時期:2021年1月

建屋面積:3000㎡

用途:屋内での氷上実車試験

<名寄タイヤテストコース概要>

所在地:北海道名寄市字智恵文 1996-1

開設:1991年

敷地面積:87万㎡



以上